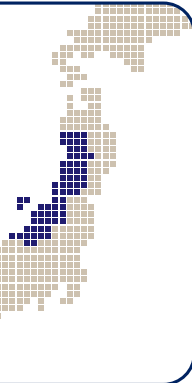


# カトリック

# 新潟教区報



## 「神と、人々と、自然とともに歩む」

新潟教区司教 パウロ 成井 大介



### 宣教司牧方針の実践

早いもので、今年の正月に宣教司牧方針が発表されてから9ヶ月が経ちました。年頭司牧書簡で、「まず今年は、各共同体で宣教司牧方針を読み、自分たちにとって何が大切なのか分かち合い、それぞれに合った取り組み計画を作成することから始めてください。」とお願いました。が、皆様の共同体での取り組みはいかがですか？

コロナ禍の影響も少なくなり、青年から子どもまでがともに参加する活動が増えたり、ミサ後のお茶会で多国籍の交わりを行ったりと、様々な取り組みが始められています。

宣教司牧方針は、新潟教区のすべての共同体が宣教司牧に取り組みするための姿勢を示すものですが、共同体はそれぞれ違った背景の中で歩んでいるため、それぞれの状況で何を特に大切にして交わり、宣教、参加に取り組んでいくのか話し合い、計画を立てることをしなければ、自分たちの共同体に合わない方針になってしまいます。ぜひ継続的に話し合いを続けていただけたらと思います。

5月の教区報にも書きましたが、現在、宣教司牧方針の実践のために教区としてどのような組織体制が必要になるのか、検討を進めています。来年春以降の委員会編成などに反映させていく予定です。

### シノドス第二会期

2021年に始められ、新潟教区でも各共同体で分かち合いを行ってきたシノドス第16回通常総会は、この10月に第二会期の会議がローマで行われ、閉会します。日本の司教団を代表して参加する菊地功大司教様は、第二会期が始まるにあたって、祈りのうちにともに歩むよう日本の教会に呼びかけ、次のように述べています。

「第二会期の一番の目的は、『宣教するシノドスの教会となるには』、いまわたしたち教会は何に取り組み、どのようにあることが必要なのかを、参加者が共に祈り、黙想し、聖霊の導きを識別することにあります。」

この意味で、新潟教区において、宣教司牧方針を道しるべに、ともに、宣教司牧に取り組みあり方を模索し、実践することは、世界の教会のシノドスの取り組みとともに参加することなのです。この10月で3年間にわたるシノドス第16回通常総会は終わりますが、ともに歩む道程をこれからも続け、深め、広げていけたらと思います。

そのためにも、先日カトリック中央協議会のウェブサイトで公開され

た『シノドスハンドブック』をお読みにになり、霊における会話を共同体における話し合いに取り入れてくださればと思います。

『シノドスハンドブック』(https://www.cbj.catholic.jp/2024/08/06/30457/)



### インテグラル・エコロジーの取り組み

日本の司教団はこの7月、2001年に出された『いのちへのまなざし』以来23年ぶりとなる司教団文書、『見よ、それはきわめてよかつた——総合的なエコロジーへの招き』を発表しました。これは、教皇フランシスコが2015年に発表した回勅『ラウダート・シ』で示された、インテグラル・エコロジー、すなわち「神と、他者と、自然と、そして自分自身との調和ある関係を追求めて生きていく」よう、わたしたちを招く文書です。ぜひ読んでみてください。

信仰生活と環境保全は別の事柄と思う方もおられるかもしれません。しかし、神が、わたしたち人間を含むこの世界を、きわめて良いものとして造ってくださった事に對する感謝と賛美、そしてそのきわめて良いものを大切に、守っていくことは、まさに信仰に基づいて福音を生きたることそのものです。逆に言う、今の時代に信仰生活を送るためには、地球環境保全に取り組みまないわけにはいかないのです。

また、わたしは今年の新潟教区平和句間講演会で、この本について紹介いたしました。新潟教区のウェブサイトから公演のビデオを視聴できますので、ご活用ください。  
http://www.catholic-niigata.net/archives/7284



### 聖年について

ご存じのように、来年、2025年に世界の教会は聖年を祝います。テーマは「希望は欺かない」です。わたしたちが希望の巡礼者として主に向かつて歩を進める機会としたと思います。詳しくは改めてお知らせいたしますが、教皇フランシスコの聖年公布の大勅書がカトリック中央協議会ウェブサイトで公開されていますので、ぜひお読みください。  
https://www.cbj.catholic.jp/2024/07/24/30297/

ひとりで悩まず  
わたしたちにご相談ください

**カトリック新潟教区  
セクシャル・ハラスメント相談窓口**

司祭・修道者による未成年者性虐待と  
セクシャル・ハラスメントについての  
窓口です

TEL 080-8912-8758  
受付 毎週火曜日 13:00~14:00  
(除く祝祭日)

地区便り

秋田地区 2024秋田地区 教会学校練成会報告

池田 広子

7月13日(土)〜14日(日)、秋田教会を会場に秋田地区教会学校練成会が行われました。幼児・小学生13人、中学生2人、青年4人、ほかスタッフ(親含み)20人、そして婦人会、ヨゼフ会有志の方にお手伝い頂き無事に終える事ができました。皆さんの祈りの賜物が、今年は晴天に恵まれ予定したプログラムを全部行うことができました。ザブーンで遊び、B・B・Q、スイカ割り花火、流しそうめん、どの場面でも子ども達の笑顔が輝いていました。今年も能代教会から1人、新発田教会から2人初参加でしたが、すぐに皆仲良くなつて遊ぶ姿を見て嬉しく思いました。

2日目、日曜日のミサはそれぞれ役割を担い、前日からの練習の成果を緊張しながらも発揮しました。閉祭には成井司教様と練習した「新しい旅へII」をザンビアで働いている傍島神父様へのエールを込めて歌いました。「詞・曲 傍島義雄」

ミサ後殉教祭にも参加し、ちよつと普段と違う雰囲気を感じました。殉教を初めて知り、びっくりした子もいました。コロナ感染拡大以来、年代を超えて子ども達が行う機会が減る中で貴重な時間を過ごすことが出来たと感じます。ご協力・お祈りありがとうございました。



い旅へII」をザンビアで働いている傍島神父様へのエールを込めて歌いました。「詞・曲 傍島義雄」

ミサ後殉教祭にも参加し、ちよつと普段と違う雰囲気を感じました。殉教を初めて知り、びっくりした子もいました。コロナ感染拡大以来、年代を超えて子ども達が行う機会が減る中で貴重な時間を過ごすことが出来たと感じます。ご協力・お祈りありがとうございました。

上越地区 家族と子どもたちの集い

寺尾教会 主任 岡 秀太

8月3日(土)から4日(日)にかけて、妙高高原の赤倉山荘で「上越・下越地区の家族と子どもたちの集い」が行われました。コロナのため長い間このような泊りがけの行事を行うことができませんでした。今回、上越地区の「集い」に参加させていただき、下越地区のすべての教会に声を掛けさせていただいたことが、数年ぶりの宿泊プログラムであること。そして、来年以降のテストケースとして、今年も参加教会を絞ったプログラムとさせていただきます。



新潟教会からは1家族、青山から2家族が参加してくださいました。成井司教様も参加いただき、下越地区は司教・司祭・青年含めて全員で20名となりました。また、台湾からの1家族が参加してくださいました。当日は、お天気にも恵まれました。土曜日、午後3時集合でした。子どもたちは到着するとすぐに山荘の中を探検し走り回っていました。

お互いを知るためのオリエンテーションでは、リーダーたちが工夫を凝らして盛り上げてくださいます。「折り鶴」を平和への願いと共に折りました。お楽しみ夕食はボランティアの皆様の手作りカレーとサラダでした。高田のクララ会からは一本きゅうりときゅうりのQちゃん漬けをいただきました。きゅうりは大好評で、みんながぶり付いていました。

子どもたちは時間があれば山荘の中と外で大騒ぎしていました。花火の時間、お風呂の時間もとても楽しかったです。写真は寝る前の折り返しです。みんなしっかりと祈れました。祈りが終わると就寝時間ですが、子どもたちは興奮してすぐに起きてきました。小さな子どもたちは、お母さんにお部屋に連れてゆかれるまで、山荘の中を文字通り走りまわっていました。走りながらのなか、大人の中にはわがや、大人の中にはわがや、きつと別の楽しい世界が見えているのに違いないと感じました。

日曜日は早起きしてすこし散歩。朝食のあと妙高教会の皆さんとミサとなりました。ミサの中で昨日の「折り鶴」

鶴」を子どもたち自身が折りと共に神に捧げました。そして午後11時過ぎに現地解散となりました。

楽しい時間はすぐに過ぎてしまいます。今回の集いは子どもにとっても大人たちにとっても充実した時間だったと感じました。4年ぶりの宿泊プログラムということで不安や心配もありましたがこれからのに向けて良い経験になったと思います。そして何より怪我や事故がなかったこともうれしいことでした。(花火でヤケドはありましたが...) このつながりを大切にしながら大きく育て、いつかみんなでもまた集まりたいと思います。

最後に今回のプログラムのため、たくさん皆様にご協力をいただきましたことを心より感謝申しあげ、神の祝福を祈ります。

下越地区 高敷修神父様 司祭叙階60周年 おめでと〜ございます。

カトリック新潟教会 アンジェリス 鎌田 佳文

高敷修神父様の司祭叙階60周年記念ミサが、2024年7月1日に新潟司教座聖堂で成井大司教様の主司式で執り行われました。

秋田地区からは、飯野耕太郎神父様も参加してくださいました。司祭団15名、平日にもかかわらず信徒の方々が70名ほど参加してくださいました。



司教様の説教を聴く神父様



祝福を受けられる神父様

記念ミサでは、成井司教様が説教をされ、高敷神父様に向かつてまるでお話をされておられるようでした。高敷神父様は心に思うところがあつたのか、ところどころで頷いておられました。

司教館で司祭団と親族・教区本部職員とでお祝いのささやかな食事をいたしました。食事会では、高敷神父様の若い頃のエピソードなどが話されました。

高敷神父様は、長い司祭生活の中で様々な小教会でお仕事をしてこられましたので、多くの方々が洗礼を授かったことと思います。

私も高敷神父様から洗礼を受けていただいた一人です。出来の悪い子ほどかわいいと言いますが、よほど心配だったのか、のちに私を教区本部職員として呼んでくださいました。お陰でいろいろな小教会を巡らせていただきました。高敷修神父様、これからもお元気で、私たち信徒をご指導ください。

今年5月19日聖霊降臨の主日に、新潟教会ではインターナショナルデーと称して多言語によるミサと信徒交流会を行いました。ここ近年では毎月第2主日ミサの第2朗読をベトナム語としていますが、大々的にインターナショナルミサを実施するのは、2016年「いつくしみの特別聖年」の聖霊降臨祭以来、実に8年ぶりとなります。8年前は日本語と英語の2か国語だけでしたが、今回はベトナム語やその他の言語を織り交ぜた形となるよう企画しました。司式は成井司教様にお願ひし、フック神父様にもお声がけし共同司式となりました。

思い返せば8年前は、ベトナム信徒はさほど多くなかったと記憶しています。この8年間でベトナム信徒のコミュニティもどんどん大きくなり、新潟教会には今では新潟地区に限らず方々から大勢集まってくれるようになり、彼ら彼女らがいるだけでなく、とても賑やかで元気の雰囲気を出してきて感謝するばかりです。

聖霊降臨祭の当日は、晴天に恵まれて爽やかな天気となりました。5月の聖母月に新潟教会では、ミサ前のロザリオの祈りをルルドで唱える習慣となっています。数年前から聖母月の恒例行事となっているベトナム信徒のマリア様へ捧げる踊りと花束を、当初は聖堂内で行う予定でしたが、フック神父さまからのご提案で急遽、ロザリオの祈りの後にルルドで行うことになりました。ベトナムの伝統衣装の真っ白なアオザイに着飾った女性たちとシャキッとした白いワイシャツに身を包んだ男性たちが一人ひとりブーケを持ってダン



ベトナム信徒のマリア様へ花束を捧げる踊り

下越地区

五月晴れの空の下で

新潟教会

聖霊降臨祭インターナショナルデー

新潟教会国際協力部

スを踊り、ルルドのマリア様に花をお捧げして祝います。青空と緑の芝に真っ白な衣装とブーケが映えて、それは心がとても晴れかくなる光景でした。多くの信徒がルルドに集まって心を合わせてお捧げすることが出来ました。

ミサは、日本、韓国、台湾、フィリピン、ベトナム、インドネシア、スリランカ、ブラジル8カ国の信徒約100人が集いました。侍者も日本とベトナム信徒の共同とし、朗読は第1を英語、第2をベトナム語で、共同祈願と奉納は各国の代表の方にお願ひしました。そして拝領と閉祭の歌は、日本の聖歌の後に英語とベトナムの聖歌を織り交ぜました。主の祈りは、司教様のお計らいで、同時にそれぞれの母国語で心を

合わせて祈りました。お説教は、成井司教様から日本語と英語で、フック神父様がベトナム語に同時通訳して下さい、これは、信徒のみなさんから大好評でした。この日のお説教では、司教様から、互いに外国人であり、信仰はそれぞれの国の文化の中で育まれてきたのだから、それぞれの文化を理解して受け入れることが大切、他国の言葉をただ聞いていただけでなく覚えることも大切である、教会の中ではみんながひとつの家族というお話がありました。拝領祈願の後に司教

様から、各国の言葉で「こんにちは」を何と言うのか、みんなで覚えようと呼びかけがあり、8ヶ国語が飛び交い、互いに挨拶を交わし聖堂内に一体感が生まれました。聖霊の働きと神様の下での一致を実感できる瞬間でした。ミサ終了後には、信徒間の交流を深めるべく、各国の料理が振る舞われました。美味しい食事はたくさんのお話と喜びをもたらしますね。万国共通です。コロナ禍中から企んでいた念願の(?)オープンカフェ形式、つまり、聖堂前と前庭(ルルド洞窟前)の屋外にテーブル、椅子とテントをセッティングして、各国の料理とドリンクブース(屋台)を設けたスタイルを初めて試みました。参加されたみなさん、いかがでしたでしょうか。日本、フィリピン、ベトナム、台湾各国の用意されたお料理はあつという間に無くなり、そのうち自然な流れで、聖堂前で歌とダンスの披露から始まり、次第にベトナムの羽根けりやダンスなどの輪が出来て、たくさん笑顔が溢れる空間となりました。日除けのため信徒会館で食事と談笑していた年配の方々も外の様子を眺めていて、ここでも一致の場が生まれました。みなさんそれぞれに楽しい一時を過ごした様子でした。ダンスの輪を眺めていた時、ベトナム信徒の女の子が私の手を握ってきて、「今日



聖霊降臨ミサ

はありますが。とても楽しい。」と言ってくれたので、とても嬉しく思いました。準備に関わって下さった成井司教様、フック神父様、信徒の皆さんに心から感謝申し上げます。ところで、新しい新潟教区の宣教司牧方針には、外国信徒との分かち合いに関することが盛り込まれています。新潟教会では、その後、第2主日に限らずベトナム信徒が参加する主日ミサで、朗読、共同祈願、主の祈り、聖歌の1部もベトナム語で行うようになりました。日本人も一緒に唱えられるようベトナム語の読み仮名付きの紙を配布してみたり、8月15日聖母被昇天祭日ミサの前には多言語による平和の祈りの会を企画してみたりと、ロレンゾ神父様やフック神父様に相談しながら、また英語圏やベトナム信徒たちと協力しながら、少しずつ分かち合いと一致が深まるように取り組みを始めています。他教会にも紹介できる機会があればと思っていますので、引き続き聖霊の導きがありますよう祈りたいと思います。



聖母被昇天祭ミサ後の茶話会にて

最後に、他国出身の信徒のみなさんから、インターナショナルデーの感想を寄せていただきましたので、ご紹介します。聖霊の働きと神様のお恵みに感謝！

The event was a really beautiful moment. It reflects the diversity of the church. Celebrating the multilingual mass together was amazing. I can feel peace and God's love.  
(Meirna, Indonesia)

このイベントは本当に素晴らしいひとときでした。教会の多様性を反映しています。多言語ミサと一緒に祝うのは素晴らしいことでした。平和と神様の愛を感じることができました。  
(Meirna、インドネシア)

I really enjoyed the party that showcased food from different countries. I was so excited to eat "puto" and "lumpia" again. It made me miss the Philippines even more. I also enjoyed watching the dance performances of the Vietnamese people. I felt fortunate to witness the beauty of their tradition and culture. Another highlight for me was the "hello" activity. Bishop Daisuke asked people from various countries how to say hello in their native languages. It was really fun! I was excited to meet Catholic people from different countries here in Niigata. Seeing others with the same dreams and religious beliefs made me so happy.  
(Laurisse, Philippines)

さまざまな国の料理を紹介するパーティーを本当に楽しみました。「プト」と「ルンピア」をまた食べられてとても興奮しました。フィリピンがさらに恋しくなりました。ベトナム人のダンスパフォーマンスを見るのも楽しかったです。彼らの伝統と文化の美しさを目の当たりにできて幸運だと思いました。私にとってもう1つのハイライトは「こんにちは」挨拶でした。成井大介司教はさまざまな国の人々に、母国語で「こんにちは」と言う方法を尋ねました。とても楽しかったです！新潟でさまざまな国のカトリックの人々に会えて興奮しました。同じ夢と宗教的信念を持つ人々を見て、とても幸せになりました。  
(Laurisse、フィリピン)

Trong dịp lễ Chúa Thánh Thần hiện xuống, rất vui vì được tham dự Thánh lễ quốc tế quy tụ các bạn ở các quốc gia khác nhau như Hàn Quốc, Philipines, Việt Nam, Trung Quốc... Cuối Thánh lễ chúng con được nghe những lời chào thân thương từ các nước. Sau Thánh lễ chúng con được giao lưu ẩm thực, được trò chuyện cùng với những người bạn dễ mến, mọi người đều rất vui vẻ. "Nhà thờ" là nên một, là yêu mến. Chúa vẫn luôn yêu thương và tôn trọng sự khác biệt của mỗi chúng ta.  
(Nana Nguyen, Việt Nam)

今年の聖霊降臨の主日にカトリック新潟教会において、小教区の日本人の信徒の方々をはじめ、フィリピン、韓国、インドネシア、台湾、ベトナムなどといった様々な国籍の信者の方々と一緒に祝うインターナショナルミサに参加することができたことを嬉しく思いました。派遣の祝福の前に、司教さまの招きに対してそれぞれの国の挨拶の言葉を聞かせてもらいました。その喜びに続き、ミサ後、食事の交流会も行われました。楽しい食事をしながらたくさんの方々とお話することができました。教会こそが愛と一致の交わりの中だとあらためて実感しました。やはり神さまがお一人ひとりを愛しそれぞれの違いを尊重してくださいませ。  
(ナナ・グエン；ベトナム)

“Ở đâu có hai, ba người họp lại nhân danh Thầy, thì ở đó có Thầy, giữa họ”  
Khi đến Nhật, chúng con có cơ hội được tham dự thánh lễ bằng nhiều thứ tiếng khác nhau, gặp gỡ và làm quen nhiều bạn từ những đất nước khác nhau, ăn những món ăn mới lạ, mà có lẽ từ trước giờ chúng con chưa có cơ hội 😊  
Tất cả là nhờ tình yêu Thiên Chúa gắn kết chung con, mỗi con người, mỗi tính cách, ngôn ngữ khác nhau, nhưng đều quy tụ về ngôi thánh đường hàng tuần để tham dự thánh lễ! Chúng con hy vọng tinh thần công giáo được lan toả khắp nơi, để mọi người biết tới Chúa nhiều hơn, yêu thương nhau hơn và tinh thần phục vụ mạnh mẽ hơn nữa!  
(Huyen Trang ; Việt Nam)

「2人または3人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいる (マタイ18-20)」日本に来て初めて、私は、多国の言語で行われるミサに参加することができました。特に今回、カトリック教会の聖霊降臨祭において日本人の方々はもちろん、世界のあちこちから来られる方々とも出会い、それぞれの国の食べ物を大変楽しみました。神の愛こそがわたしたちを1つにしてくださると思いつつあります。それぞれの背景、性格、言葉が違って、教会に集まり、ごミサを捧げることで、わたしたちは1つになっています。このようにして、キリスト教的な愛と奉仕の心をより広げていくことができるよう願っています。  
(フエン チャン；ベトナム)

一番感動した言葉は「外国人」と「みんな」でした。どこの国の人でも、相手は「外国人」ですが、教会の中では同じ「みんな」です。言語や文化・国籍が異なっても教会では同じ父と子と聖霊のみによって結ばれています。  
(Cao Tuan ; Việt Nam カオ トウアン；ベトナム)

(新潟教会国際協力部)



青年の皆さんもぜひ!!

## 子どもミサ2024

テーマ  
「シャローム ～みんなであつなろう～」

日時：11月23日(土・祝) 13:00～16:00  
場所：カトリック長岡教会  
新潟県長岡市表町4丁目1-5

内容：オープニング、自己紹介  
グループに分かれて、プログラム♪  
ミサ、記念撮影

対象：小学生～青年  
参加費：100円  
申し込み期間：9月8日(日)～10月31日(木)



お問い合わせ  
●カトリック新潟教区青年会  
niigata.catholic.youth@gmail.com  
●伊藤幸伸神父様  
(糸魚川教会、教区青年担当司祭)

申し込みはこちらから→

